

ブチルテープ

1. 製品及び会社情報

1.1 製品情報

製品名 : ブチルテープ

1.2 製造者または供給者

会社名 : 株式会社 MonotaRO

所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階

担当者名 : 商品お問合せ窓口

電話番号 : 0120-443-509

FAX 番号 : 0120-289-888

緊急連絡先 : 所在地と同じ

整理番号 : M200807

1.3 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 接着及びシーリング

使用制限 : 現時点で使用制限の情報はない。情報を入手した場合、本文書に含まれる予定である。

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS 分類

指示 : 分類基準に従って必要なし

2.2 GHS ラベル表示

危険有害性の絵表示 :



注意喚起語

指示 : 分類基準に従って必要なし

注意書き

指示 : 分類基準に従って必要なし

2.3 その他の危険有害性

情報なし

3. 組成、成分情報

3.1 単一製品/混合物の区別

混合物

3.2 危険有害な成分

化学名	CAS 番号	濃度(Wt%)	分類
ポリイソブチレン	9003-27-4	30~50	該当なし
ブチルゴム	9010-85-9	20~30	該当なし
カーボンブラック	1333-86-4	10~20	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	10~15	該当なし
ポリエチレン(PE)	9002-88-4	0~5	該当なし
固形パラフィン	8002-74-2	1~7	該当なし

*本成分の明確な化学的同一性や正確な割合（濃度）は、商業秘密として保留されている。

4. 応急措置

4.1 必要な応急措置

一般的助言：事故の場合または気分が悪い場合、本文書を示して直ちに医師の診断を受ける：下記を参照。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸が容易な姿勢で休ませる。気分が悪い場合、医師の助言/診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに石鹼と多量の水で皮膚を洗う。汚染した衣服と靴を脱ぐ。医師の診断を受ける。再使用前に衣服を洗う。再使用前に靴を十分洗う。

眼に入った場合：直ちに多量の水で最低 15 分間洗眼する。容易に外せる場合、コンタクトレンズを外す。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：嘔吐を促さない。医師の診断を受ける。水で口を完全にゆすぐ。

4.2 急性及び遅発性に関する最も重要な兆候及び症状

アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。

重篤な眼の炎症を起こす。

長期または反復暴露によって臓器障害を起こす。

摂取した場合、有害または悪影響が起こる可能性がある。

4.3 応急処置をする者の保護

応急処置者は自己防衛に注意し、暴露の可能性がある場合、推奨する身体保護具を着用する。

4.4 医師に対する注意事項

対症療法及び支持療法を行う。

5. 火災時の措置

火災の危険：不燃性

引火点：90°C以上（密閉式引火点試験）

適切な消火剤：散水、アルコール耐性消火薬剤、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火薬剤

不適切な消火剤：データなし

火災時の固有な危険有害性：燃焼生成物への暴露は健康に有害な可能性がある。

危険有害な燃焼生成物：刺激性の有機性蒸気が発生することがある。

特定の消火方法：地域状況と周辺環境に適切な消火方法を使用する。散水して未開封の容器を冷やす。安全であれば、火災で損傷していない容器を火災区域から除去する。区域から人を隔離する。

消火を行う者の保護：火災の場合、自給式呼吸器を着用する。個人用保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人用保護具を使用する。保護具のない者を近づけない。

安全取扱い助言及び個人用保護具の推奨に従うこと。

皮膚や眼への接触及び蒸気の吸入を避ける。

すべての発火源を除去する。

セクション 8 に推奨する個人用保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項

環境への放出を避けなければならない。
さらなる漏出または流出を防ぐ（そうするのが安全な場合）。
汚染した洗浄水を保持し、処理する。
大量漏出を封じ込めることができない場合、地域当局の助言を求める。

6.3 封じ込めと清掃の方法及び材料

不活性吸収材で吸い取る。
大量漏出の場合、材料が拡散しないように防壁で囲うか、または他の適切な封じ込めを行う。防壁材料をポンプで汲み上げることができる場合、回収した材料を適切な容器に保管する。
適切な吸収材で漏出物の残余の材料を清掃する。
地域または国の規則が本材料の放出と処理に適用され、加えてそれらの材料と品目が放出物の清掃に使用されることがある。どの規則が適用されるか決める必要がある。

6.4 その他のセクションを参照

詳しい情報はセクション 7 を参照。
詳しい情報はセクション 8 を参照。
詳しい情報はセクション 13 を参照。
詳しい情報はセクション 15 を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 局所換気/全体換気

換気が十分な場所でのみ使用すること。

7.2 安全取扱の注意事項

ラベルの指示通りに使用すること。
飲み込んだり、眼に入ったりしないようにする。
良好な衛生と安全基準に従って取り扱う。
水、火、熱及び酸化物に近づけない。
湿気を防ぐ。
漏出を防ぎ、環境への廃棄及び放出を最少化するように気を付ける。
アレルギー反応を起こしやすい人は、本製品を取り扱わない。
セクション 8 の設備対策を参照。

7.3 安全保管の条件

適切にラベル付けした容器に保管する。
施錠して保管する。
特定の国家規則に従って保管する。

7.4 避けるべき材料

強酸化剤、有機過酸化物、酸類、食品、爆発物、高温、熱

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 作業場の管理濃度を有する成分

職業暴露限界値を有する物質は含まれていない。

8.2 暴露管理

個人用保護具



呼吸器の保護具：十分な局所排気装置を備えていないか、または暴露査定で、暴露が推奨範囲内でないと実証された場合、呼吸器保護具を使用する。短時間暴露または汚染度が低い場合、フィルタ呼吸装置を用いる。集中的暴露または長時間暴露の場合、自給式呼吸保護具を用いる。

手の保護具：有害物質の濃度と量および特定の作業場に応じて、化学薬品から手を保護する手袋を選ぶ。特殊使用の場合、保護手袋の耐薬品性を明記している製造業者の手袋をお

薦めする。休憩の前および作業日の終わりに手を洗うこと。

眼の保護具：下記の個人用保護具を着用する：安全眼鏡

皮膚及び身体の保護具：耐薬品性データ及び局所暴露の可能性の査定に基づいて、適切な保護衣を選択する。不浸透性保護衣（手袋、エプロン、長靴など）を用いて皮膚への接触を避けなければならない。

衛生対策：作業場の近くに洗眼システムと安全シャワーを設置する。

使用中に飲食または喫煙をしない。

再使用前に汚染した衣服を洗濯する。

ガス/ヒューム/エアロゾルを吸入しない。

9. 物理的および化学的性質

外観：ペースト

臭い：特異臭

pH：該当なし

融点/凝固点：該当なし

沸点/沸点範囲：該当なし

引火点：90℃以上（密閉式引火点試験）

密度：1.12g/cm³

水に対する溶解性：僅か

爆発性：爆発しない

酸化性：本物質または混合物は酸化性として分類されていない。

備考：これらの値は、仕様書の作成に用いるように意図されていない。

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性：反応の危険性があると分類されていない。

10.2 化学安定性：通常の条件下で安定している。

10.3 危険有害な反応の可能性：データなし

10.4 避けるべき条件：湿気への暴露

10.5 混触危険物質：材料は湿気または水分のある場所で硬化し始める。

10.6 危険有害な分解生成物：データなし

11. 有害性情報

11.1 予想される暴露経路情報：皮膚への接触、眼への接触。

11.2 健康への影響の可能性/症状

吸入した場合：健康への影響は予想されない。

皮膚に付着した場合：徴候/症状は局所性発赤、痒み、皮膚の乾燥とひび割れを含む。

眼に入った場合：製品使用中、眼に接触した場合、重大な刺激があるとは予想されない。

飲み込んだ場合：胃刺激：徴候/症状は腹痛、胃の不調、吐き気、嘔吐及び下痢を含むことがある。

11.3 急性毒性

追加関連情報なし。

12. 環境影響情報

追加関連情報なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残留物の廃棄：地域の規則に従って処理する。

汚染したパッケージ：空の容器は、リサイクルまたは処理に関して認可された廃棄物取扱い場所に持っていく。使用後でも、容器に穴を開けたり燃やしたりしてはならない。

特に指定がない場合：使用不可物として処理すること。

14. 輸送上の注意

UNRTDG：

UN No.：該当なし

クラス：該当なし

容器等級：該当なし

輸送品目名：該当なし

海上輸送 IMDG コード：

UN No.：該当なし

クラス：該当なし

容器等級：該当なし

輸送品目名：該当なし

道路輸送 ADR：

UN No.：該当なし

クラス：該当なし

容器等級：該当なし

輸送品目名：該当なし

航空輸送 IATA-DGR：

UN No.：該当なし

クラス：該当なし

容器等級：該当なし

輸送品目名：該当なし

15. 適用法令

物質または混合物に関する特定の安全、健康及び環境規則/法規制。

16. その他の情報

16.1 H コード（危険有害性情報）の全文

指示：分類基準に従って必要なし

16.2 全米防火協会（米国）

健康障害：1

燃焼性：0

不安定性/反応性：0

特記事項：該当なし

16.3 その他の略語の全文

ADN：危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定、ADR：欧州危険物国際道路輸送協定、AICS：オーストラリア化学物質インベントリ、ACGIH：米国産業衛生専門家会議、AIHA：米国産業衛生協会、ASTM：米国材料試験協会(現在 ASTM インターナショナル)、ATE：急性毒性推定、bw：体重、CEIL：許容限度、CMRG：化学メーカーの推奨ガイドライン、CMR：発がん性、変異原性又は生殖毒性、DIN：ドイツ工業規格、DSL：国内物質リスト(カナダ)、ECx：x%応答に関連する濃度、ELx：x%応答に関連する負荷率、EmS：非常時目録、ENCs：既存および新規の化学物質(日本)、ErCx：x%成長率応答に関連する濃度、GHS：化学品の分類および表示に関する世界調和システム、GLP：優良試験所基準、IARC：国際がん研究機関、IATA：国際航空運送協会、IBC：危険化学薬品の撒積運送のための船舶構造および設備に関する国際規則、IC50：50%阻害濃度、ICAO：国際民間航空機関、IECSC：中国現有化学物質名録、IMDG：国際海上危険物規程、IMO：国際海事機関、ISHL：労働安全衛生法(日本)、ISO：国際標準化機構、KECI：韓国既存化学物質リスト、LC50：半数致死濃度、LD50：半数致死量、MARPOL：船舶からの海洋汚染防止条約、n.o.s：他に規定のない限り、NO(A)EC：最大無毒性濃度、NO(A)EL：無毒性量、NOELR：最大無作用量、NZIoC：ニュージーランド化学物質インベントリ、OSHA：米国労働安全衛生管理局、OECD：経済協力開発機構、OPPTS：汚染防止農薬有害物質局、PBT：残留性・生体蓄積性・有毒性物質、PICCS：フィリピン化学品および化学物質インベントリ、(Q) SAR：定量的構造活性相関、REACH：欧州連合化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則、RID：欧州危険物国際鉄道輸送規則、SADT：自己加速分解温度、SDS：安全データシート、STEL：短時間暴露限界値、TCSI：台湾の化学物質目録、TSCA：米国有害物質規制法、TWA：時間加重平均値、UN：国際連合、UNRTDG：国際連合危険物輸送勧告、vPvB：高難分解性・高生体蓄積性。

16.4 追加情報

本安全データシートの編集に用いた重要なデータの出典：社内技術データ、原料に関する SDS からのデータ、OECD の eChem ポータル検索結果、及び欧州化学機関 <http://echa.europa.eu/>。

本安全データシート (SDS) に述べる情報は、発行日現在、当社が知る限り、正しい情報だと確信します。本情報は、安全取扱い、使用、処理、保管、輸送、処分及び放出に関する指針としてのみ作成されており、いかなる種類の保証または品質仕様書と見なされてはなりません。本情報は、この SDS の頭書に特定した固有材料のみに関するものであり、本 SDS の材料は、本文に特に述べない限り、他の材料と結合して、または任意のプロセスに使用される場合、有効でない可能性があります。ユーザの最終製品に関する本 SDS の適切性の評価を含めて、材料を使用するユーザは、取扱い、使用、加工及び保管に関して、意図する特定の状況で本情報と推奨を検討してください。